

住居学専攻

コア・カリキュラム構成の設定と学習内容・行動目標

育成する人物像

住むひとの『満足する住環境を創造できる』スペシャリスト
(卒業時二級建築士合格レベルの知識を有する)

教育目標

住環境に関する専門知識と技術を習得し、住環境の安全・安心快適性の確保、健康・環境問題等を幅広く対応出来る実践力と感性を有した人材を育成し社会の発展に寄与することを目的とする。

■コア・カリキュラムとそれを構成する科目

建築計画に関する知識

- ①建築計画、環境工学、設備についての基礎知識を習得
 - ②演習問題の解答、解説により二級建築士合格レベルの知識習得
- 科目: 建築計画Ⅰ・Ⅱ、環境工学、リフォーム建築論、建築設備Ⅰ・Ⅱ、環境設備専門演習Ⅰ・Ⅱ



<インテリアデザイン論・実習>

建築法規に関する知識

- ①建築基準法を中心に関連法規の基礎を習得
 - ②演習問題の解答、解説により二級建築士合格レベルの知識習得
- 科目: 建築法規、建築法規専門演習Ⅰ・Ⅱ

設計・作図能力

(メインコア・カリキュラム)

- ①設計・製図の描き方の基礎習得
 - ②各種建物用途・構造の設計・製図について習得
 - ③プレゼンテーション手法の習得
- 科目: 基礎製図、設計論・製図Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ・Ⅵ、CAD演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ、卒業研究

建築構造に関する知識

- ①構造力学を学ぶため数学の基礎知識を習得
 - ②構造力学の基礎的な概念を習得
 - ③演習問題の解答、解説により実践的な問題解析能力を習得
- 科目: 構造力学基礎Ⅰ・Ⅱ、構造力学Ⅰ・Ⅱ、建築構造専門演習Ⅰ・Ⅱ



<特別プロジェクト実習>

建築施工に関する知識

- ①構造種別、工事種別ごとに建築施工についての基礎知識を習得
 - ②演習問題の解答、解説より二級建築士合格レベルの知識を習得
- 科目: 建築施工、建築施工専門演習Ⅰ・Ⅱ、測量

住むひとの『満足する住環境を創造できる』
スペシャリストの育成

コミュニケーション能力

- ①社会人として恥ずかしくない知識、コミュニケーション能力の習得
 - ②専門領域の活動をする上で必要となるコミュニケーション能力の習得
- 科目: 基礎演習Ⅱ(コアカリキュラム支援科目群)

インテリアデザインについての基礎知識

- ①インテリアデザインの基礎知識を修得
 - ②演習問題の解答、解説によりインテリアコーディネーター試験に合格レベルの知識を修得する
- 科目: インテリアデザイン論、インテリアデザイン史、インテリアデザイン論・実習、インテリアコーディネーター専門演習

入学前課題

コア・カリキュラムを構成するひとつの力学・構造についての知識を得るための準備として、入学前の補完学習課題『数学基礎』講座により1、2、3年次に学習する構造力学の基礎学力を身につける。

<コア・カリキュラム>

育成する人物像として住むひとの『満足する住環境を創造できる』スペシャリストを目指す。この習得知識レベルとして、卒業時に二級建築士合格レベルを目標とする。建築士試験科目である5科目、計画・設備・建築法規・構造・施工に設計製図実技の学びをコア・カリキュラムとして構成する。設計論・製図はコア・カリキュラムの学びを総合化したものであり、メインコア・カリキュラムとして位置づける。

<専門教育の学習と評価>

授業科目: 設計論・製図Ⅳ
開講学年: 3年前期
学習項目:
①集合住宅の機能を理解し、集合住宅設計の基礎を学ぶ
②建築関連法規の知識を習得し、集合住宅の団地・配置計画を学ぶ
評価内容
Ⅰ自己評価
Ⅱ教員による評価 など

<履修前後の学習内容評価の達成状況調査(学生による自己評価)>

授業科目: 設計論・製図Ⅳ
開講学年: 3年前期
達成レベル: 自己評価
①友達に聞いてできる
②プリントを見ればできる
③1人でできる自信がある
④他の人に説明ができる
評価項目:
Ⅰ集合住宅の機能(住環境)
(a)住棟を構成する共用・専用部が分かる
(b)住棟の共用部分の機能が分かり、具体的な所要室が分かる
(c)住棟の専用部分の機能が分かり、具体的な所要室が分かる など